



1. GHGの取り組み

前回、社是の実践、経営理念を構成する『4つの信条』にかかる**第一の信条=お客様**の取り組みについて紹介しました。今回は、**第二の信条=働く仲間**の取り組み事例を紹介していきます。

第二の信条=働く仲間

従業員が主体的に健康づくりに取り組める環境整備、健康経営と一体となった、働き方改革推進、ダイバーシティ活動を展開。



【特徴的な活動】

- 『あすけん』を活用したウォーキングイベントなど 専門性を活かした従業員向けの健康推進活動を展開
- ワールドカフェ形式によるワークショップ、ロールモデル後援会、階層別ワークショップなど女性活躍に関する幅広い活動を実施。



1. ダイバーシティへの取り組み

GHGは、1970年代から女性だけで運営する店舗（さぼてん錦糸町）をオープンしたり、女性役員を登用するなどダイバーシティへの取り組みは先行しています。現在では健康経営と一体となって取り組み、女性活躍の環境づくりを進めています。「女性総合職ワークショップ」において、直近では「この先のキャリアをイメージしよう」をテーマに、より具体的にキャリア形成に必要なことについての講義とディスカッションを実施し、女性が活躍できる環境づくりをさらに進めています。



2. 従業員の健康推進

G「食を通じた健康貢献企業」を実現するにあたり、まずは従業員が健康であることが前提という考えから健康経営に取組み始めました。主に若年層の肥満、生活習慣病、喫煙率の高さを健康課題とし、具体的な活動方針として「ウェルネスプログラムの推進」を掲げ全社で取組みを進めています。2,000人以上在籍の管理栄養士・栄養士を中心に本業のノウハウを生かした取り組みを各現場でも進め、外部からも高い評価を得ています。

『歩いて健康チャレンジ』

ジーエスエフは112名の方が参加頂きました。昨年より参加者数はアップ
次回もたくさんの方の参加お待ちしております！

『10秒ストレッチ』や『あすけん副菜朝食レース』なども行われました。このように従業員の健康推進活動もSDGsの取り組みの1つです。



12 つくる責任
つかう責任



SDGs選手権！！

東日本営業部 南会津町田島学校給食センター



特に残菜の多い中学校があり今回SDGsの取り組みをほかの営業所の実践しているものを見ているうちに、クライアント栄養士と私たちから発信できる取り組みがあるのでは…？と定期的に残菜の量を計りグラフ化して、生徒に残菜の多さを実感してもらい残菜を減らそうという取り組みを新年度行う予定です。

考案段階という事ですが、クライアント栄養士とSDGsと一緒に取り組み事例をお待ちしております。

12 つくる責任
つかう責任



3 すべての人に
健康と福祉を



食育活動！！

中部営業部 関市学校給食センター

農作物の被害防止のため、年間およそ600匹の鹿が捕獲され、埋葬や焼却してされていました。そこで2月13日120kgの鹿肉を使用し、食べやすいカレーで提供することになりました。新聞（中日新聞・岐阜新聞）への掲載、にニュースでも報道されました。営業所では食べやすくするために何度も何度も試作を繰り返し、生姜、にんにく、カレー粉を増やし臭みを消す工夫し子供たちが食べやすいジビエカレーが出来上がりました。給食提供後に、学校に訪問し館内放送も行いました。（DJ/山盛所長放送と対応が最高だったそうです！）の放送効果もあり「カレー美味しかった人」と声をかけると全員手を挙げてくれました。



4 質の高い教育を
みんなに



8 働きがいも
経済成長も



17 パートナリシップで
目標を達成しよう



職場体験！！

中野区立緑野中学校

11月28、30日に緑野中学校の2年生が給食室で職場体験を行いました。経緯として学校側からマネージャー・チーフに相談があり、職場体験として調理場に協力してもらえないかと声をかけていただいたことがキッカケです。

普段はなかなか入ることができない給食室に入って作業をするため、少し緊張しているようでした。栄養士先生や当社栄養士、スタッフの方々の指導の下、皆さん一生懸命に取り組んでくださったため作業をスムーズに進めることができました。生徒さんからは、

「午後の洗浄が想像以上に大変だった。」
「毎日時間と手間をかけておいしい給食を作ってくれていることに感謝して、残さず食べたい。」

という声がきこえ、嬉しい気持ちになりました。

